



川上さんの授業を熱心に受ける児童

あなたの夢は何ですか？

1月20日～24日、一流スポーツ選手の講義と実技を通して、魅力的な子どもを育てようと、(公財)日本サッカー協会の主催でJFAこころのプロジェクト「夢の教室」が開催されました。川上直子さん(元サッカー日本代表)は、応援してくれる人のためにも「努力・継続」することの大切さを語りました。

石垣陽都くん(広見小5年)は「今まではあきらめかけたこともたくさんあったけど、夢の実現に向けてやり続けてみようと思えた」と力強く話してくれました。

さつきバスのデザインが一新!

総合会館東側の市役所停留所で1月25日、さつきバスの新デザインが披露されました。新デザインの基調となっている「黄丹色」は高齢者が認識しやすい暖色で、美濃桃山陶を代表する志野をイメージしています。

訪れた子どもたちはバス運転手の制服を着て記念撮影や乗車体験をしたり、「10才みついでワン」の塗り絵をしたりして楽しみました。完成した塗り絵は3月21日まで、新デザインバス2台の車内に掲示されます。



新しいバスの外観



呉本会長と市長

歴史を学び、郷土に誇りを

株式会社湯の華から1月29日、市内公立小中学生の社会科見学に役立ててほしいと「麒麟がくる ぎふ可児 大河ドラマ館」の入場券約1900枚を寄贈していただきました。同社の呉本勝男会長は「歴史を学び、郷土に誇りをもって、将来は可児に住み続けて活躍してほしい」と語りました。

博覧会会場では、明智光秀に関するパネル展も開催しています。可児の歴史を学びに、ぜひ足を運んでみましょう。



(左から) 甲山製作所の藤田社長、市長、村の木清福会の大雅理事長

働きやすい可児をつくるために

1月29日、働き方の見直しやワーク・ライフ・バランスの実現を推進する企業の中から、2事業者と新たに協定を締結しました。今回締結したのは、時間外労働の削減や業務改善に積極的に取り組む株式会社甲山製作所と、高い有給休暇取得率の実績やタブレット端末の導入で事務の効率化を図る社会福祉法人村の木清福会(ひろみ・はぐみの森保育園)です。これからも若い世代がイキイキと働ける場所が増え、住みたいと感じるまちになると良いですね。

伝吾がきた！ 明智荘を巡った！

1月19日、大河ドラマ「麒麟がくる」の初回放送日に藤田伝吾役の徳重聡さんが岐阜医療科学大学で行われたパブリックビューイングとトークイベントに登場し、390人の観覧者を沸かせました。

イベント前には、明智荘(土岐明智氏発祥の地:現在の可児市北東部から御嵩町西部の一带)にある大河ドラマ館、明智城跡、天龍寺を巡り、それぞれの場所でお話を伺いました。



トークイベントの終盤には、斎藤道三役の本木雅弘さんがサプライズ登場。二頭立波+マムシの口のポーズが決まってる!



司会を務める可児市出身のキャスター有田早紀さん(左)が撮影中の出演者同士の秘話や、明智荘巡りの話などを伺いながら会場の皆さんと一緒に盛り上がりました。



徳重 光秀の館の360° VRIは、自分が撮影中に見てきたセットをお客さんに自分の目線で見ていただけて面白いですね。また、パネル展示をお客さんがとても集中して読んでいて、その世界に入っている感じがとても嬉しかったです。



徳重 思ったより高台。片方が崖になって攻めにくく、守りやすい自然の要塞だったんでしょうね。



徳重 明智家代々の人たちのお墓に「今、こういうことをやらせて頂いています」と報告しました。

— 徳重聡さんから 可児市民へメッセージ —

今回舞台となる可児の人たちはドラマを見ることで、きっとその頃から変わらないうちのまちの歴史や風景が見られることがとてもうれしい。毎回の楽しいタイムスリップを味わってほしいです。

皆さんの先輩の姿に礎をかみしめながらご覧いただき、ステキな時間を過ごしてください。

